

ひめゆり平和祈念資料館を見学して 1年～5年 感想

せんそうがあって、ばくだんでいっばいのひとがなくなって、みずもとおいとこにあったから、これからせんそうがない、へいわなままでいたいとおもいました。(1年)

ときどきした。せんそうでひとがしんだら、かなしい。かなしい。せんそうはふあん。せんそうはこわかった。せんそうはこわいよ～(…)
(1年)

こわかったし、かわいそうだった。せんそうはこわい。これからもきをつけます。たくさんひとがしんじやった。せんそうってこわいんだと思いました。(1年)

ぼくは、ひめゆりしりょうかんをけんがくして、せんそうはおそろしくて、せんそうは、ひとびとがくるしむことだとおもいました。だから、もう、せんそうは二とと、したくないとおもいました。
(2年)

せんそうは、あまりこわくない、おこるわけないと思っていた。わたしは、軽く考えていました。でも、今日はひめゆりしりょう館に行って、思っていました。せんそうはしてはいけない、それを今、ウクライナとロシアがやっているんだ、止めないとひどくなって、沖繩第二次世界大戦と同じだ！せんそうはおそろしいと思いました。かべや写真などにあること見れば見るほど、ひめゆり学徒隊の思いをしりました。苦しい、苦しいと思いながらも食料や水を運んだり、ケガをしている人のかんごが、どれほど大へんかを。それで、むねがいっぱいでした。これからは、平和の大切さ、せんそうのおそろしさを世界の人につたえたりできるよう、がんばりたいです。これからも平和の大切さを大事にしながらか沖繩戦のことを伝えてください。ありがとうございました。(4年)

せんそうは、いろいろな人がしんでいるんだと、よくした。せんそうは、やっちゃんよくないことだとよくしりました。みんな、ばくだんのなか、よくがんばったなとおもいました。(2年)

えいそうを見て、どんなかんじで、せんそうがはじまったか、どんなに苦しかったか、くわしくわかりました。少しこわい場面もあったけど、ほんとうに見たらもっとこわいときだったんだと思いました。ひめゆり資料館は、せんそうのときの絵や画ぞうがたくさん、くわしく書かれていました。しゅじゅつのどう具がおかれていて、ますいをしないまま、しゅじゅつをおこなったということがわかりました。ひめゆり学園の人たちは、しゅじゅつをすることをいやがらずに、すごいと思いました。よく、考えてみたら、わたしは、いやがらずできるかな？と思いました。今日は、せんそうは、ものすごくこわくて、ぜったいにやっはいけないということがわかりました。これからも平和を守りたいです。(4年)

ひめゆり資料館を見学して、戦争の事やへ和の事、命の大切さについて知りました。戦争は大切な命をうばっていくし、殺されるよりは自分で自ら命を絶つほど、ざんこくなんだという事が伝わってきました。今ある生活は、平和だからできる事で、今ここが戦場になったら…と考えるとこわいし、つらいです。戦争で命をたった人たちの立場になると、とてもつらいです。命の大切さ、重さについて改めて知りました。私たちに、今、できる事は、次の世代にうけつぐ事だと思えます。なぜなら、戦争けいけん者が、今でも少ないので、「次の世代にこういう事は二度とないようによしうね」と語り継ぐのが私たちにできる事だと思えます。「平和」「命」を大切にしながら日々生活したいです。幸せな生活、ごはんなど当たり前のことにかんしゃして、小さなケンカなどがないようにしたいです。
(5年)

ぼくは、ひめゆりしりょうかんについて、せんそうは、とてもこわいなと思いました。どうしてかという、アニメを見て、いろいろな人がしんでいるんだなと思ったからです。ぼくは、せんそうの時うまれなくてよかったと思いました。もう、せんそうは、おきてほしくないとおもいました。(2年)

せんそうで、食べ物少ないし、自分がせんそうにまきこまれたら、多分いきのこれないかもしれないなと思いました。せんそうで、200万人も人が死んでいると聞いて、とてもびっくりしました。せんそうで友だちがけがをしたら、その友だちをおいて、にげないといけないと知って、びっくりしました。多分、ぼくだったら、おいていけないと思いました。けっこんし、子供をうんだり、学校の先生になったりして、つぎのせだいにせんそうのことをおしえないとなと思いました。おしえないと、せんそうを知らない人がせんそうを起こしたら、その人がせきにんをとれないと思うからです。せんそうってほんとうにきけんなんだなと思いました。せんそうって、きずつく人がたくさんいると聞いて、あつてはならないなと思いました。(3年)

ひめゆり資料館では、戦争のこわさ、生き残った人たちの思いを知りました。学徒隊は休む暇もなく、うじを取り除く作業をしたり、兵隊のようやベンを片付けたのは本当にいやだったと思います。アメリカ兵もひどいけど、日本兵もひどいなとは思いました。トラックで重しょうの人を運ぶと伝えられていたのに、青酸カリをまぜたミルクを飲ませたのは、悲しく感じました。今が、平和なのは当たり前事ではないと思いました。戦争1つで生きたいという気持ちから、死にたいという気持ちになるという事は、それほど、戦争は悲しくこわいものだったのだと思います。戦争はもう二度とおこしてはいけないことをさい確にんしました。(5年)

見学して、えいそうを見て、ごうの中は、くらくないと思ったけど、ごうのさいげんをしたものを見ると、ほんとうにまっくらで、生とさんは、こんなにくらくらいのに、がんばってちりょうをしたんだと思って、ちょっとこわくなくなりました。あと、しょくいんの人に行くと、泣いている赤ちゃんがうるさいところすなんて、ひどいと思いました。もし、私が1945年に生まれていたら、死んでいたと思いました。わたしのおじいちゃん、おばあちゃん、がんばっていのちのバトンをつないだと思ひ、大へんと思いました。(3年)

今日はありがとうございました。私が思っていた、りく軍病院は明るくて病院の中のはばが広いと思ってたけど、じっさい見たとき、すきまもせまくて真っ黒で、びっくりしました。私だったら、気分が悪くて、ぬけだすと思うのに、学生さん達はよくがんばって、できたなとほこりに思いません。私がびっくりしたことは、学生は少なく、なくなった人は女子441人。男子1552人。教し99人。なくなったと聞いた時が一番びっくりしました。せんそうがおこらないためには、みんなが仲良く生きていかないとはいけないんだなと、強く学習しました。これからも、みんな笑顔で生きていけますように。(4年)

ひめゆり資料館、ひめゆりの塔は、ひめゆり学徒隊の方々や戦争で亡くなった人の思いや願いを残すために建てられたと、ぼくは思います。ずっと、ふつうの生活をしてたのに戦争のせいで、すごいおいのごうの中でウジ虫を取ったり、飯上げ、死体埋葬などの仕事を学生がするのは、今とは全然ちがっていて、とてもしょうげきでした。このような事がもうないように、ぼくたちができる事は、沖繩戦をまだ知らない人に教えたりして、平和について知ってもらうこと、そして、自分も改めて沖繩戦について知ると、もっとよい沖繩、世界になると思います。(5年)